

山地災害に備えよう



山地災害の危険箇所を知ろう!

あなたの町の山地災害のおそれのある箇所がどこにあるのかを知っておくことは、災害に備えるためにとっても大切です。身近に危険な箇所がないかどうか、日頃から防災マップなどで確認しておきましょう。

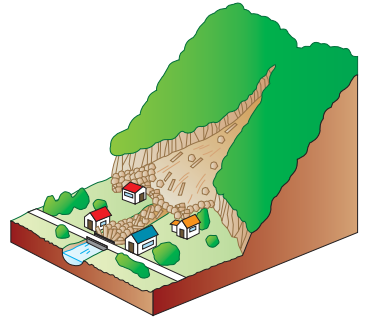
——— 山地災害危険地区については市町または県の農林(水産)振興事務所にお問い合わせください。 ———

災害の種類を知ろう

土石流とは?

山や谷の土砂や石が、長雨や集中豪雨などによって水と一緒に、谷をけずりながら、流れ出てきます。

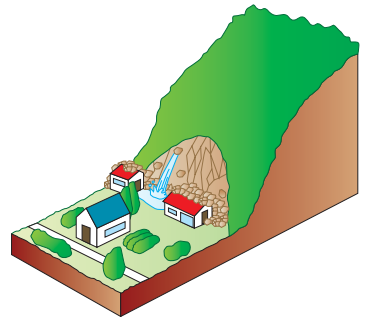
その流れの速さは、規模によって異なりますが、時速20~40kmという速さで谷の出口で広がり、一瞬のうちに人家や畑などを壊します。



山崩れとは?

大雨の時に地中にしみ込んだ雨水により、山の急な斜面が一気に崩れ落ちてきます。また地震の揺れによっても起こります。

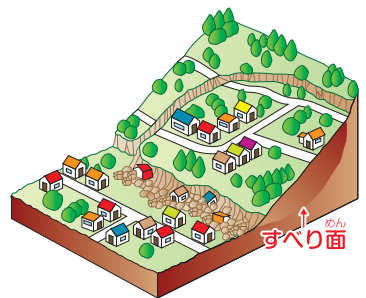
山崩れは、一瞬のうちに起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。



地すべりとは?

地面の中の粘土のようなすべりやすい面に雨水などがしみ込み、その影響でゆっくりと斜面が動き出します。

山や家や道路と一緒に大地が動くこともあり、大きな被害を及ぼします。



土石流



← 朝来市田路漆山

山崩れ



← 佐用町上石井

地すべり



← 養父市大久保



山地災害の危険信号を **見逃すな!**

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、多くの場合、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。特につぎの8つの危険信号に注意して下さい。



(社)日本治山治水協会「山地災害に備える」
平成23年発行より引用

● 危険信号をキャッチしたら!

山くずれのおそれがある箇所では、テレビなどの
気象情報に注意しましょう。



● **すぐ避難!**

危険を感じたら早めに指定された場所へ避難しましょう。



● **あぶない!!**

災害の危険がある場所には近づかないようにしてください!

自然災害はいつどこで起こるかわかりません。

● **ふだんから**

日頃から家族や地域ぐるみで危険な場所や避難の場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確かめておきましょう。



県のホームページでは、山地災害の起こりそうな所や、被害を受ける範囲を示した地図(ハザードマップ)が見ることができます。

家のまわりや、通学路などに危険な箇所がないか確認しておきましょう。



● 雨の強さと降り方

テレビやラジオのニュースでは、雨量について報じられることがあります。雨の降り方を観察して、雨の強さが判るようになれば、危険が近づいていることを察知することに役立ちます。雨の強さと降り方は1時間の雨量によって下の表のように分類されています。

予報用語 1時間雨量 (ミリ)	やや強い雨 10以上~20未満	強い雨 20以上~30未満	激しい雨 30以上~50未満	非常に激しい雨 50以上~80未満	猛烈な雨 80以上~
人の受ける イメージ・影響	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。 (ゴーゴと降り続く)	息苦しくなるような 圧迫感がある。 恐怖を感じる。
災害発生状況	長く続く時は注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難準備が必要。	土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。 都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。	雨による大規模な災害の発生するおそれ が強く、嚴重な警戒が必要。
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽく、視界が悪くなる。	

気象庁HP「雨の強さと降り方」参照

土石流の怖さや治山ダムの役割を 体験しよう

降雨体験装置 “カツバくん”



雨の強さや降り方を、目や耳や首で体験できます。

土石流模型実験装置



土石流の恐ろしさや治山ダムの役割を身近に見ることができます。

3D立体映像装置 “びっくりくん”



土石流の発生から流下状況を迫力のある3D映像を実写版で再現したものです。

地域の防災訓練、小中学校の防災教育、ひょうご森のまつり・農林漁業祭などの各種イベントにも出展しています。

兵庫県治山課・会員市町等のご協力のもとに出張実演も行っております。

